

2023 年度（令和 5 年度） 認定こども園 春木カトリック幼稚園 自己評価

評価項目	取り組み内容	取り組みの状況
保育の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 本園の教育理念に基づき、子どもたち一人ひとりに丁寧に関わる保育を行い、日々の記録や個別指導計画により、園児の育ちを職員一人ひとりが視点をもってより一層園児の理解を深めるよう努力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 1人ひとりの子どもの傾向や特徴をつかみ、また職員間で情報を共有しながら、子どもたちの良い育ちのための保育を考えることができた。
教職員の資質・能力・良識・適正の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育の質の向上に繋がる研修を今後も実施していく。対面やオンラインでの研修や勉強会などにも取り組む。また必要な研修内容を見返し更なる資質向上に努め、考動し、職員間での共有化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 園内研修によって、職員同士で学んだ事を共有しできるだけ実践できるよう努力した。また園内研修により、個々が自主的に質の向上に繋がるよう努力する姿が見られた。
宗教教育	<ul style="list-style-type: none"> ● カトリック園として、キリスト教の教えを伝える「宗教教育カリキュラム」を組み「心の教育」の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 教育の理念である心の教育を目指し、宗教教育の時間を大切にすることができた。
事故防止・安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校安全計画及び、危険等発生時において職員がとるべき措置のマニュアルを職員間で共有し、徹底をはかり訓練を実施する。 ● 遊具の安全確保については毎日の職員による遊具点検、専門家による年1回の点検を行い事故防止に努める。施設設備の安全点検・危険箇所の早期発見においても同様に必要に応じて使用方法の注意、補修等の措置を講じ安全確保に努める。送迎バスの安全装置を設置し、運行マニュアルに基づいたバス乗降時の確認、また園児の登園降園状況の管理を徹底して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成3年からある大型遊具を今の基準にもとづいた安全で小さい子どもたちも楽しめる遊具に入れ替えを行った。 ● 玄関からテラスのコンクリート部分を転倒した際の万が一の為、ゴムチップ素材に施工した。保護者の方々からも安心だというお声をいただくことができた。 ● 2023年度始まって早々には、バスの「置き去り防止装置」を設置した。また園児の登降園・出席確認もきちんと行うようマニュアルを作成し、管理体制を整え職員全員に徹底して周知し実行している。
発達と援助	<p>日々の記録や個別指導計画により、園児の育ちを職員一人ひとりが視点をもってより一層園児の理解を深めるよう努力する。また、一人ひとりの子どもの発達状況について話し合う為のケース会議を定期的に行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの実態を把握・共通理解し、そこから踏まえた援助・指導の方向性を探ることができた。 ● 今後も特別支援の研修を受け、専門的知識の学びを持つようにしたい。
ICT活用	<p>アプリを十分に活用し、保護者へ情報をより早く的確に伝えることができるよう努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 忙しい保護者の負担を考慮し、連絡帳を記載ではなくアプリでの入力になったことは時短となりよかった。

令和5年度 認定こども園 春木カトリック幼稚園 学校関係者評価

子どもたちのより良い成長を考え、一人ひとりに寄り添った保育をしていると感じた。大型遊具を入れ替えることで遊ぶ幅が広がり、楽しく遊んでいる姿が見られた。また、子どもたちが日ごろよく通る場所のコンクリート部分をゴムチップ舗装することで、転倒時の安全性が高まった。子どもたちが興味を持って楽しく遊べる環境づくりや安全対策の向上などに取り組んだことを評価します。

今後も子どもたちの主体的な活動を通して発達や学びを促す経験が得られるような教育・保育に期待しています。

株式会社エルステップス

岩本 勝利

西尾 良浩

奥村 直輝